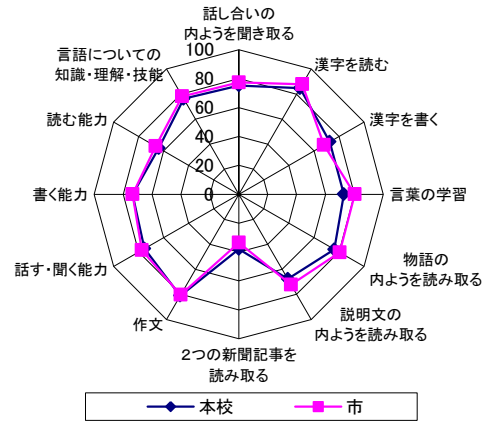


宇都宮市立上河内西小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	75.3	77.4
	漢字を読む	84.7	87.9
	漢字を書く	72.6	68.1
	言葉の学習	72.6	80.2
	物語の内ようを読み取る	76.3	80.6
	説明文の内ようを読み取る	67.7	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	37.9	33.5
	作文	81.0	80.3
観点別	話す・聞く能力	75.3	77.4
	書く能力	73.4	73.4
	読む能力	64.0	66.4
	言語についての知識・理解・技能	76.3	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	話の意図を聞き取る設問では、市の平均を上回る結果を得られた。しかし、話し手の話し方の工夫や、話し手と自分の意見の相違点を聞き取る設問では、市の平均を下回る結果となった。	日々の生活の中で、相手の話を落ち着いて聞くということが定着するよう繰り返し指導していきたい。その中で、聞く時の観点を示したり、話す時に相手に分かりやすいように声の大きさはもちろん内容の組み立て方を工夫したりするなど子どもたちが体験を通して学んでいけるように意図的に場を設定していきたい。
漢字	4・5年生の漢字を書く設問では、市の平均を大きく上回る結果となったが、4年生の漢字を読む設問では、市の平均を大きく下回る結果となった。	5年生の漢字については、毎日の宿題や小テストで繰り返し指導してきた結果定着を図ることができた。4年生の漢字についても繰り返し指導してきたが、新出漢字に比べてまだまだ指導が不十分だった。4年生の漢字についても5年生の新出漢字同様繰り返し指導していきたい。
言葉の学習	接続語の使い方やことわざの適切な使い方の設問については、市の平均を大きく上回る結果となったが、文脈に沿って句読点を正しく打ったり、適切な漢字を使ったりする設問では、市の平均を大きく下回る結果となった。	文脈にそった句読点の打ち方については、まず日々の指導の中で読書を中心として文章を身近に感じられるような環境づくりに努めたい。また、同音異義の漢字の練習プリントを繰り返し行うなど指導していきたい。
物語の内ようを読み取る	登場人物の心情を読み取る2問の設問の内1つは市の平均をやや上回り、1つはほぼ市の平均と同等の結果となった。しかし、登場人物の様子を読み取る設問に関しては、市の平均を下回る結果となった。	授業の中で、まずはしっかり文章を読むことに重点を置き、さらに登場人物の心情や情景を詳しく読み取る場面を多くするなど日々の授業を充実させていきたい。また、朝の読書の時間を有効活用し、物語をこちらから紹介するなど子どもたちが進んで物語と触れ合う機会を多く設定していきたい。
説明文の内ようを読み取る	文章の内容を的確に押さえて読む設問については市の平均を上回った。しかし、文と文とのつながりを考えたり、各段落のまとまりを考えて読み取ったり、文章の要旨をまとめる設問では市の平均を下回る結果となった。	文章の内容を理解することはできていても各段落が説明文全体の中でどのような役割をもっているか、各段落がどのように関わりあっているかの理解が不十分だったので、今後、説明文の学習の際、各段落の役割を正しくとらえ、また、そこから文章の要旨とを結びつけて考えられるような指導の工夫をしていきたい。
2つの新聞記事を読み取る	2つの新聞記事を読んで、共通点を読み取る設問は市の平均を大きく上回ったが、相似点をまとめる設問では市の平均を下回る結果となり、自分の立場を明確にしないでまとめた児童が30%いた。	自分の立場を明確にして意見を述べるという実践を通してさらにその意見を自信を持ってまとめられるようにしていきたい。また、朝の読書で本だけでなく新聞も紹介していき新聞を読むことへの抵抗感を軽減していきたい。
作文	指定された長さで文を書く、2段落構成で文章を書く、学校行事の内容を書く設問では、市の平均を上回った。しかし、行事に参加した時の気持ちを書くという自分の心情をまとめる設問では、市の平均を下回った。	作文で自分の考えや気持ちを書くことが苦手な児童が多いことから、まずは、授業の中で自分の意見や考えをどんどんノートに書くことでその抵抗感を減らしていきたい。さらにそれを基盤として、様々な形式の文章が書けるようにしていきたい。